

## はじめに

### 「COPITA 型プレボーリング杭工法の施工ガイドライン」の作成に当たって

「杭基礎施工便覧」(平成 19 年 1 月, 社団法人 日本道路協会)で、既製コンクリート杭のプレボーリング杭工法については、3 工法が具体的工法例として掲げられています。その施工管理項目や管理手法は工法毎に決められてはいるものの、管理のポイント等が工法毎に異なっているのが実情です。一方、一般社団法人 コンクリートパイル建設技術協会(以下「COPITA」という)は、平成 19 年より、独立行政法人 土木研究所 構造物メンテナンス研究センターとの共同実験により、4 種類のプレボーリング杭工法で施工した杭について、各種載荷試験を実施し、その支持力特性についての調査・解析を行ってきました。

また、平成 20 年には、同研究センター 橋梁構造研究グループより「道路橋基礎に中掘り杭工法、プレボーリング杭工法を適用する場合の施工管理記録について」が示され、これに記載されている施工管理項目について、管理手法等の確立が必要な時期に来ております。

これらのことを鑑み、この度、COPITA では、上記共同実験結果や管理手法等を取り入れた「COPITA 型プレボーリング杭工法の施工ガイドライン」を作成いたしました。今後、土木分野への展開を見据え、道路橋示方書改定等に対応できるよう、逐次取り扱いについて検討を加えていきたいと考えます。

2012 年 3 月(第 1 版)

社団法人 コンクリートパイル建設技術協会

2012 年 7 月(第 2 版)

一般社団法人 コンクリートパイル建設技術協会

### 「COPITA 型プレボーリング杭工法の施工ガイドライン」の改訂(第 3 版)について

このたび、COPITA 会員会社(以下「会員会社」という)が関わった工事において、不適切な工事(管理)により、基礎杭工事、ひいては建設生産物に対する国民の信頼を大きく損ねる事象が発生致しました。

また、「杭基礎施工便覧」は平成 27 年 3 月に改定され、公益社団法人 日本道路協会から発刊されています。

これに対し、COPITA は、再発防止対策およびさらなる施工品質の向上を目指し「COPITA 型プレボーリング杭工法の施工ガイドライン」を改訂致しました。

今後、COPITA では、既製コンクリート杭の施工に関し、会員会社が共通認識とすべき技術、品質の確保・向上、施工管理の強化、施工記録の重要性の認識など、更なる普及に向け最新の情報・技術を発信、周知するのみならず、新たに施工に関わる者の倫理規定も設けて、業界全体で社会の信頼回復に努めてまいります。

2016 年 3 月

一般社団法人 コンクリートパイル建設技術協会